

例　　言

- 1 本書は、独立行政法人国立文化財機構（2006年度までは独立行政法人文化財研究所）奈良文化財研究所が、2005年度から2008年度の4ヵ年にわたり、独立行政法人日本学術振興会から科学研究費補助金（基盤研究A）の交付を受けて実施した「古代東アジアにおける造瓦技術の変遷と伝播に関する研究」（課題番号 17202022、研究代表者：毛利光俊彦・山崎信二）の成果報告書である。
- 2 本書には、2009年3月14日（土）と15日（日）の両日、奈良文化財研究所平城宮跡資料館で開催した国際シンポジウム「古代東アジアにおける造瓦技術の変遷と伝播」の研究報告と総合討議を収録した。また、2008年3月26日（水）と27日（木）に中国社会科学院考古研究所と奈良文化財研究所が北京市で共同開催した国際学術検討会「四～十世紀の中国の造瓦技術（中国語原題：四至十世紀東亜制瓦技術研究）」の報告資料を翻訳し、附載として収録している。
- 3 本研究における研究組織は以下のとおりである（所属は当該時点）。

研究代表者　　毛利光俊彦（奈良文化財研究所）2005年度
　　　　　　　　山崎信二（奈良文化財研究所）2006～2008年度

研究分担者または連携研究者

　　亀田修一（岡山理科大学）
　　佐川正敏（東北学院大学）
　　花谷浩（奈良文化財研究所）
　　小澤毅（奈良文化財研究所）
　　今井晃樹（奈良文化財研究所）
　　林正憲（奈良文化財研究所）
　　中川あや（奈良文化財研究所）
　　高田貫太（奈良文化財研究所）
研究協力者
　　安家瑠（中国社会科学院考古研究所）
　　朱岩石（中国社会科学院考古研究所）
　　金誠龜（韓国国立中央博物館）
　　金有植（韓国国立扶餘博物館）
　　石田由紀子（奈良文化財研究所）

- 4 拓影・実測図は、1/4の縮尺を原則とし、これと異なる場合は縮尺を明示した。
- 5 本書の編集は、小澤毅と今井晃樹が担当し、中国語の翻訳は今井がおこなった。韓国語の翻訳は梁宗鉉氏（帝塚山大学大学院生）に依頼し、高田貫太が監修した。